

社会課題の解決と企業成長の同時実現に関する事業活動評価 評価基準表

評価項目	配点
1.解決しようとする社会課題とアプローチ方法	
札幌市内の社会課題の解決に資する内容となっているか。	3
アプローチ方法は明確かつ簡潔に記載されているか。	
市外・国際課題の社会課題の解決にも普及・波及させる内容となっているか。	
2.社会課題解決に向けた現在の事業活動	
社会課題解決に向けた取組が企業成長に寄与するストーリーを記載できているか。	4
3.社会課題解決に向けた挑戦的な事業活動	
事業活動を着実に実行するために必要な推進体制が整備されているか。	12
現在の事業活動に加え、今後新たに実施することを予定する内容が記載されているか。	
業界において先進性(又は独自性)のある取組で、継続的な成長が見込める内容となっているか。	
「2 現在の事業活動」と「3 挑戦的な事業活動」 共通評価事項	
ロジックモデルとの整合性が取れ、インプット、行動、アウトプット、アウトカムが整理されているか。	8
札幌市内外のステークホルダーとの連携により実現可能な内容となっているか。 もしくはステークホルダーとの連携促進のために効果的な内容となっているか。	
サプライチェーンに好影響を及ぼす取組か。	
4.見込まれる自社への経済効果	
企業成長に資する効果が示されているか。	2
現在の事業活動及び挑戦的な事業活動との整合性のある内容か。	
5.ロジックモデル	
評価しない(上記1～4の内容と重複するため)	
6.事業活動を通じて5年後に目指す自社の姿	
事業活動内容と整合性のある目指す姿となっているか。	3
社会課題解決、企業成長の両側面から目指す姿が描けているか。	
目指す姿を従業員に浸透させるための取組を行っているか。	
7.事業活動を通じた自社の挑戦的な目標	
【社会課題解決に向けた目標】:事業活動を通じて解決しようとする社会課題と整合性があるか。	12
【企業成長に向けた目標】:見込まれる自社への経済効果と整合性があるか。	
【共通】:進捗管理に適したKPIとなっており、活動状況のモニタリングを可視化できるものとなっているか。	
【共通】:自社内で測りうる目標設定となっているか。	
【共通】:目標設定は現状の取組の継続に終始しておらず、将来に向けた挑戦的な事業活動により算出される目標となっているか。	
8.事業活動を通じて見込まれる地域社会へのインパクト	
事業活動と整合性のあるインパクトとなっているか。	6
環境分野の内容に合ったインパクトが記載されているか。	
社会分野の内容に合ったインパクトが記載されているか。	
経済分野の内容に合ったインパクトが記載されているか。	
合 計	50